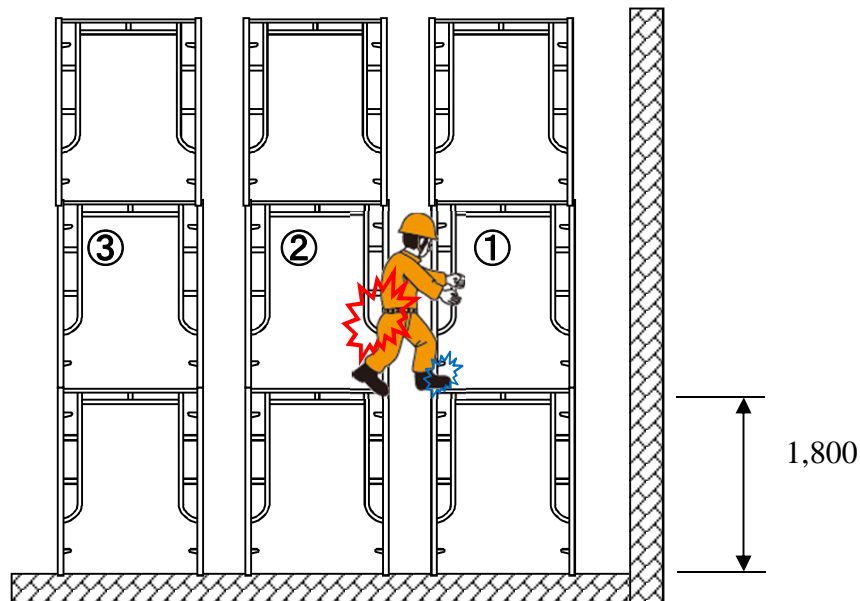


『足場上で単管に足をのせズして体勢崩し、腰痛める』

発 生 年 月	平成 年8月
時 刻	9:30頃
被 災 者	鉄筋工(51歳)
傷病名・部位	椎間板ヘルニア (休業42日)

- ◎ 発生状況
1. 災害発生当日、朝から型枠面に差筋を挿す作業を①の足場上で行っていた。
 2. 被災者は②の足場上で③の足場上にある差筋を、①の足場上に手渡して置き、②から①の作業場所へ移動しようとして左手で足場の筋交を掴み、右足を梁鉄筋を吊っている単管に足を乗せたところ、単管が30cmほど進行方向に向かって左側にズレ、体勢を崩したため腰を痛めた。
- ◎ 被災状況



◎ コメント

- ・作業前に作業手順を周知させ、確認させること。
- ・作業場所を移動する際は、安全通路を通行すること。
- ・一人作業は極力排除し、効率よく作業するために作業間の連絡を密にとること。